

第6回野菜需給・価格情報委員会における春キャベツなどの野菜の需給・価格見通しについての意見の概要

1 日時

平成22年3月4日(木) 16:00~18:00

2 場所

農畜産業振興機構 北館6階 大会議室

3 概要

【秋冬野菜の需給・価格の状況】

(1) (前回の委員会での) 需給と価格の見通しと実績

①冬キャベツ

ア 見通しでは、入荷量については、台風18号の影響で小玉傾向ではあるものの、年内は順調。価格については、消費が横ばいとなっていることから前年を下回るとの見通しであった。

イ 実績は、年内の入荷量は前年に比べて約2割の入荷増、全体としては前年を上回った。価格は、全体として前年を大きく下回った。

②秋冬だいこん

ア 見通しでは、入荷量については、前年並か、前年をやや下回り、特に年明けはその傾向が強まるとされた。価格については、消費の伸びが見込めないことから、横ばいで推移すると見込まれていた。

イ 実績は、入荷量は全体としては前年をわずかに上回った。価格は全体としては前年を下回った。

③秋冬はくさい

ア 見通しでは、入荷量については、年内は前年を上回り、年明けは平年より少ない可能性があるとしてされた。

価格については、年内は前年をやや下回る可能性が高いが、年明けには変動が生じる可能性があるとの見通しだった。

イ 実績は、入荷量は前年並。価格は全体として前年を大きく下回った。

④たまねぎ

ア 見通しでは、入荷量については、天候不順により、生育状況が平年や前年より著しく悪いことから、平年及び前年を大きく下回り、価格については、前年を上回るとの見通しだった。

イ 実績は、見通しの通り入荷量は期間を通してほぼ前年を下回って推移し、全体として前年を下回った。価格は特に12月中旬以降は前年に比べて約6割から7

割も高くなるなど、全体として前年を大きく上回った。

### 【春野菜の需給・価格見通し】

#### 《春キャベツ》

##### (1) 生産者側の報告

- ・ 作付は若干増えたが全般的に前年並み。台風18号の影響は若干あるが、2月後半以降、天候は回復傾向なので4月以降、概ね前年並み出荷。
- ・ 作付面積は千葉県、神奈川県、愛知県で前年比100%以上となっている。
- ・ 面積が増えており、天候回復によって後ずれ傾向にあることから、過去3カ年の平均と比べてもやや多めの出荷を見込んでいる。

##### (2) 委員の意見

- ・ 特に愛知県で台風18号の影響から再定植をおこなった関係で4月以降は多めの出荷が予想される。
- ・ 過去3年間の購入量は増えているものの昨年よりも安値と見ている。
- ・ 加工に関しては寒玉がここのところ高いが、必ずしも加工需要が増えているわけではないので、4月に関しては価格的に厳しくなると予想。

##### (3) 委員の意見を踏まえた上での春キャベツの需給・価格の見通しの野菜需給協議会への報告内容は、

- ・ 作付面積は、愛知を中心に増えており、前年を上回る。
- ・ 今後、気象が前年並に推移すれば、5・6月を中心に、前年を上回る出荷が見込まれる。
- ・ 消費に関しては、近年やや増加を示す統計データはあるものの、出荷量の増加に見合う消費増は期待できないとみられる。
- ・ このため、価格は、4月は前年並を維持するものの、5・6月は前年を下回ることが見込まれる。

#### 《たまねぎ》

##### (1) 生産者側の報告

- ・ 作付面積は佐賀県が増加、兵庫県は対前年比96%。
- ・ 年明け以降、天候不順の影響で生育が遅れ気味であるが、前年作を見込んでいる。
- ・ 出荷見通しは北海道産が引き続き少ない状況ではあるが、府県産が順調に生育すれば例年に比べて増え、全体として前年並みと見通している。

##### (2) 委員の意見

- ・ 北海道産の残量は対前年比10～15%と少なく、4月～5月は数量少ないまま終了の見込み。

- ・ 佐賀県産については前年より若干少ない面積を見込んでいる。
  - ・ 価格については、ゴールデンウィークまでは高値が続かず、4月頃に下がるのではないかとと思われるが、北海道産の残量、中国、ニュージーランドからの輸入ものの動きによっては変わってくる。
  - ・ 今後の天候次第だが、今年は昨年の単価を下回るのではないかと見込んでいる。
- (3) 委員の意見を踏まえた上でのたまねぎの需給・価格の見通しの野菜需給協議会への報告内容は、
- ・ 北海道産の不作に伴い、高水準で推移した価格の動向は、4月以降弱まるものとみられる。
  - ・ 今後、気象が平年並に推移すれば、府県産は平年並の出荷量を維持することができるとみられることから、5月以降、価格は、前年を下回ることが見込まれる。
  - ・ なお、輸入ものも一定量が入っているが、生鮮ものの価格に影響することは少ないものとみられる。